フェルメール絵画の鑑賞を通して

17世紀オランダの交易を探究する授業の試み

美術 学＊・美野 愛美＊＊

〇〇大学＊・〇〇県立〇〇高等学校＊＊

ヨハネス・フェルメール（1660〜1661）《デルフトの眺望》マウリッツハイス美術館所蔵、脚注◯より図版引用

ここへは論文要旨（350字程度）を記入してください。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入してください。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入してください。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入してください。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入してくだ　　　さい。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入し　　てください。よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。ここへは論文要旨（350字程度）を記入してください。よろしくお願いいたします。

　　　　　　　　　　　〈キーワード〉美術鑑賞、自己調整学習、カリキュラム・マネジメント

１．本文について

　原稿はこのフォーマットに上書きしてください。（ちなみにデフォルト設定は、本文のフォントはMS明朝で大きさは11ptです。行間は固定値18pt。文書設定は文字数と行数指定で文字数44文字、字送り11.05pt、行数39、行送り17.9。余白は上25ミリ、下25ミリ、左19ミリ、右19ミリです）段落の行頭は１字下げで入力してください。文字列は両端揃えです。

　1行の文字数が多いため、文章は数行で改行し、読みやすさを心がけてください。画像や図、写真、表などについても同様に心がけ、できるだけ大きなサイズで使用してください。

　著者名・所属の次に論文を象徴するような画像（授業写真や絵など）を見本のように幅一杯に入れてください。なお、論文誌は全ページをカラーで作成しますので、図や写真、表などはカラーで作成されることをお勧めします。

２．見出しはMSＰゴシックの１２ｐｔです

　さらに小見出しを付ける場合は、MSPゴシック11ptで「2.1」「2.2」のようにしてください。またさらに小見出しを細分化する場合は、「2.1.1」「2.1.2」のようにしてください。

３．引用や注及び参考文献について

　引用については、「研究その他の引用の目的上正当な範囲内であること」そして「公正な慣行に合致」していることが前提です。ここで言う公正な慣行とは「明瞭区別性」「主従関係」「出典明示」「必要最小限」の４条件を指します。「明瞭区別性」とは引用側と被引用側が明瞭に区別されていることです。「主従関係」とは引用側が主で、被引用側が従であるということ。引用は投稿者の考えや主張を補強するためのものです。

　写真・図の引用は、掲載しなければ説明が不可能な場合、４で説明する著作権保護期間が過ぎた作品、もしくは権利者からの許諾を受けた場合に可能です。

　引用や注および参考文献は、Word機能の「文末脚注」を使って、論文末尾に〈注及び参考文献〉として表示し、ＭＳ明朝8ptで入力してください。1引用数字は赤文字。引用元がない場合は投稿規定３の(4)に従って処理してください。

　本文中で参考文献等を引用する場合は、〈上野（2018）は「………」と述べている〉のように引用部分全体を「　」で括って明示する必要があります。

〈注及び参考文献〉

1 上野行一（2018）、「美術をってどういうこと？」、豊田市美術館、pp.19-33

　雑誌の場合は著者名（発表年）、表題「雑誌名」、発行所、該当ページの順。英文の場合はCenturyを使い、書籍（雑誌）名は

　イタリック体で表記します。URLアドレスの場合は、掲載元、ページタイトル、URLアドレス、参照日時の順。

４．著作権等について

4.1　著作権保護期間にある著作物を使用する場合

4.1.1　論文本文に著作物の写真図版を掲載する場合

　著作権等の使用許諾が必要です。執筆者の責任において関係する個人・団体と複製及び公衆送信（WEB上の公開）の権利処理を行ってください。公衆送信期間の設定を求められた場合は、５年の範囲を条件としてください。

4.1.2　著作物のWeb上の参照先を掲載する場合

　著作物が関係する個人・団体によって公衆送信（WEB上の公開）されている場合は、論文本文に著作物の写真図版を掲載せずに、その参照先を表示することができます。参照先のリンク切れが予想される場合は、読者が検索・閲覧できるように著作物のデータを脚注に明記してください。

（例）

　 ニューヨーク近代美術館所蔵のウルリケ・ミュラーの《SOME》 (図１11)を用いて鑑賞

　　の授業を行った。

（図１）https://www.moma.org/collection/works/292575?locale=ja&page=2&with\_images=true

　　　（脚注の例）11　Ulrike Müller(2017)《SOME》39.4×30.5cm、鉄板に琺瑯、ニューヨーク近代美術館蔵

4.2　著作権保護期間が切れた著作物の図版写真を本文に使用する場合

　著作権保護期間の原則は以下の通りです。

　　 ・周知の変名（例：手塚治虫）を含む実名の著作物は著作者の死後70年。

　　 ・無名・変名の著作物や団体名義の著作物は公表後70年。

　　 ・映画は公表後70年。アーチストの映像作品も一般の商業映画と同様に保護期間は公開

　　　 後７０年です

・著作物の著作権保護期間が過ぎている場合でも、立体著作物ついてはその撮影者の著作

権の保護期間が死後70年に満たない場合は撮影者の著作権等の使用許諾が必要です。

　なお、著作権保護期間の扱いは個々の作家、作品によって微妙な場合があり、不明な場合は関係者、関係機関に確かめてください。論文本文に掲載した図版写真は、脚注に発行所・出版年・該当頁等の出典を明記してください。

　　　　　　　　（例）12　◯◯社編集部（20◯◯）「世界の美術」、p.13 からフェルメール作《デルフトの眺望》を図版引用。

以上は著作権に関する目安です。権利所有者によって判断はさまざまですので、事前にご確認ください。

５．その他

5.1　画像、映像のリンクについて

　学習活動の様子や発言等について論述する場合は、投稿者や研究関係者が撮影・録音した映像や音声データのリンクを貼ることができます。デジタル・データ化された映像・音声等を論文とともに提出してください。映像や音声のアップロードは採録決定後に著者がおこない、参照先のWebページへのアドレスを論文本文に貼り付けて再投稿してください。

5.2　論文要旨の英訳（投稿時は不要です）

　査読後、掲載が決定した後、〈注及び参考文献〉のあとに、数行空けて論文名、著者名、所属名、論文要旨とキーワードの英訳(150語程度)を入れてください。英語ネイティヴのチェックを受けたレベルの英文であること。書体とサイズ、レイアウトは次のページの見本を参照してください。

5.3　投稿

　原稿は、Word形式とPDF 形式の両方を電子投稿にて提出してください。PDTは圧縮して送付してください。その他、投稿に関わることは学会誌投稿規定を参照し、不明な点は編集局gakkai@art.gr.jpまでお問い合わせください。

English Title of This Paper :

Sub Title（不要の場合は行を詰める）

BIJYUTSU, Manabu＊・YOSHINO, Manami＊＊

○○ University＊・○○ Prefectural ○○ High School＊＊

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）

Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）Summary（日本語の論文要旨を英訳したもの）